

# 大津 エンパワ ねっと通信



〒520-2194  
滋賀県大津市瀬田大町横谷1-5 龍谷大学瀬田キャンパス内  
大津エンパワねっとオフィス(2-202教室)  
TEL:077-543-7691 FAX:077-543-7615  
E-mail: shakaip@ad.yukoku.ac.jp  
【ホームページ】 <http://www.soc.yukoku.ac.jp/gp/index.html>

## NEWS

地域エンパワねっと実習Ⅱでの活動の様子と学生たちの声(感想)を一部ご紹介します。

### □瀬田東学区□

地域の方のご協力を  
いただきながら、今こんな風に  
進めています。

今までの取り組み状況や学生の声  
(感想)をまとめました。  
※中央地区は次月号に掲載します。



### S01 子ども+交流∞ 【チーム名】とけたゆ



私たちは、瀬田東学区青少年育成学区民会議という団体に関わっています。テーマは子どもたちの健全育成です。今まで、地域の親子を対象とした森の探検隊というイベントに参加させてもらいました。1回目はひばり文化ソーン公園で木の実を拾い、子どもたちと一緒にやじろべえや、こまを作りました。2回目は近くの公園で拾ってきたつるを使い、クリスマスリースとバスケットを作りました。その後学区民さんをはじめとする複数の団体にインタビューをしました。今後は、啓発活動や3月の総会にも参加させてもらおうと思っています。

### S02 子どもの力を地域の力に 【チーム名】ベンギン5(ファイブ)

私は学園前コミュニティの子ども会にお世話をしています。報告会で先輩方の活動内容を聞いて私のグループも子ども会の活動に貢献したいと思いました。これまでの活動としては、子ども会の役員さん達と会議を行い、12月に開催されるクリスマス会の中で私達が企画をするために日々調整してきました。子ども会には、小学校1~6年生の児童が所属していて、年齢のばらつきが気になりましたが、役員さんの協力を得てクリスマス会がより良い会になるように意見を交換し合い無事企画することができました。今後の活動としては6年生を送る会に向けて新たに企画を進めていく予定です。子ども同士が仲を深めれば地域の輪が広がると思うので、子ども会の活動に積極的に参加していきたいです。

### S03 子どもと一緒に活性化じゃい 【チーム名】ポテチル



私たちは今、瀬田東学区で「ローズベイガーデン自治会」と一緒に活動させてもらっています。「子どもと一緒に活性化じゃいや！」をテーマとして、ローズベイガーデンの方たちと協力しあい、12月に行われるクリスマス会、インフルエンザ対策・予防講座に向けて日々活動しています。ローズベイガーデンは開放的で場が多く、ホールドラマに出でるような立派な家が建ち並び、公園ではいつも子どもたちが遊びまわっていましたと、とても明るく活発的な住宅地です。ローズベイガーデン自治会はできたばかりの自治会で、子ども会、老人会がまだありません。今後は子ども会作りを目標に頑張りたいと思います。

### 地域エンパワねっと実習Ⅰ 取り組み途中経過

### S04 THE☆世代間交流 【チーム名】ホアロハ

【チーム名】ホアロハ

瀬田東学区で活動している「ホアロハ」です。テーマは「THE☆世代間交流」で、ローズベイガーデン自治会で活動しています。これまで子育て支援コミュニティのほっこり広場や里山探索に参加しました。少ない回数ではありますが、地域の方と共に参加できることは非常に新鮮でした。今後は、自治会の方に「新しく出来る自治会館はどのような場所であってほしいか、「どのような企画やイベントがあつら参加したいか」というアンケート調査を行い、地域の方から求められている活動をしたいと思っています。



### S05 地域 LOVE ~地域のいいとこを地域の人と一緒に再確認する!~ 【チーム名】よいとこ

私たちのグループは、特定の地域団体の方々と活動を共にする、というよりも文化祭に参加したり、学区社協の方にお話を伺うなど、複数の団体の方とかかわっています。文化祭に参加したこと、私たち自身、瀬田東の良いところを再確認しました。大人の方だけでなく、子どもたちも参加しており、地域活動が思っていた以上に活発で、歴史ある遺跡が多く点在していることに気付きました。今後、活動を進めて行くにあたって、まず、地域の方がどれくらい瀬田東の良いところを知っているのかを調べるために、小学生と保護者の方を対象にしたアンケートを作成しています。

## TOPICS

「大学と地域をつなぐ特別講義Ⅰ」とは…

大津市の各分野で活躍している方々をお招きし、社会学部4学科の授業で講義いただくというもの。2年生後期からの「地域エンパワねっと実習」に向けての事前学習授業です。

大学と地域をつなぐ特別講義Ⅰ

### 第1回

2009.11.17  
【社会】



講師の木津勝さん

第1回は「大津ってどんなところ? -近現代のあゆみから-」と題し、大津市歴史博物館の芸能人 木津勝さんにお話を伺いました。木津さんは、歴史とともに町が変化していく様子を、浜大津と瀬田の例をあげて、写真などを織り交ぜながらわかりやすく紹介して下さいました。浜大津が、鉄道・船など交通の要所として賑わっていた昭和の繁栄の時代から、東海道線の開通によって観光の町へと変わりゆく様子や、学生のみなさんが通学している瀬田が、ここ30年ほどで急成長した様子を知ることができて大津という町を身近に感じ、興味が湧いたようです。

### 第2回

2009.11.19  
【地域】  
【臨床】



最後は青山さんの絵本の読み聞かせで終わりました。青山さんの絵本を読む声がとっても地よかつたせいでしょうか。心がとっても温くなりました。  
←講師の青山和美さん

第2回は「子育て支援について学ぶ~子育て環境を理解し、みんなが子育ての応援隊に~」と題し、大津市子育て総合支援センター「ゆめっこ」の青山和美副所長にお話をいただきました。一回生のみなさんは、「子育て支援センターってなに?」「なにするところ?」と興味津々に聞いていました。青山さんは、子育ての環境がいまどうなっているのか、地域のなかで孤立して子育てをしている親の現実を話され、子育て支援センターが共同の子育ての拠点としての役割を果たしていることをわかりやすくなられました。そして、子育ては一人ではできないこと、地域のなかでつながりあうことがとても重要なことを強調されました。

### 第3回

2009.11.30  
【CM】



写真右 木村浩一さん  
写真左 福井美知子さん  
第3回は、京阪電鉄石山坂本線(石坂線)の沿線で鉄道をメディアにすることで地域活性化に貢献しておられるゲストを迎える了。「石坂線21駅の顔づくりグループ」代表の福井美知子さんと京阪電鉄大津事業部部長の木村浩一さんのお二人です。福井さんや木村さんは2003年頃から、沿線の学校や福祉団体などに呼びかけ、駅や車両をつかって互いに作品やメッセージを発信し合う場づくりを進めました。そうした活動によって地元には「自分たちの鉄道」という意識が生まれ、利用者数も上昇に転じたということです。どんな地域にも素晴らしい文化や誇るべき歴史がありますが、それを見えるようにしたこと、多くの人々が元気づけられたという格好の事例をご紹介いただきました。

### 第4回

2009.11.30  
【地域】  
【臨床】



講師の山口浩次さん

第4回は「見守り、声かけ、寄り添い、「大津市社会福祉協議会の実践報告」」と題し、大津市社会福祉協議会(以下、社協)の山口浩次さんにお話を伺いました。近年の社会動向から「貸付事業」の利用が多いそうです。利用する方の大変さを切々と語られました。利用者の方には「よう来たな」という気持ちで対応している」と述べられました。山口さんの人に対する温かい気持ちが伝わりました。講義の最後に、学生たちに「困った時は相談する」ように話されていた姿が印象的でした。まさに、講演自体が社協活動のようであり、学生は身近に社協を感じたことでしょう。ありがとうございました。

※特別講義Ⅱの詳しい内容はHPブログに掲載しています。

## スケジュール・お知らせ

12月

● 14日: 進める会・瀬田東学区

● 16日: 学内エンパワねっと会議

<事務局より>

2期生も地域へ実習に出て早、1か月。地域の方々と一緒に年末に向けてのイベントの企画や準備に追われているようです。今年はインフルエンザの流行などにより、地域の行事が中止になることもありましたが、年末に向けての行事は何か開催されることを祈るばかりです。